

「シャロンの花」同窓会報 第21号

平成29年3月1日発行



(2015/12/05 撮影)

＜平成29年度総会・懇親会のお知らせ＞

日時 5月20日(土) 総会 午後2時～(受付1時30分～)
懇親会 午後3時～(受付2時30分～)

場所 三井ガーデンホテル千葉
千葉市中央区1丁目11-1 TEL043-224-1131

会費 7,000円(当日受付にてお支払いください。)

懇親会だけの出席も大歓迎です。恩師の先生方も多数ご出席いただいております。本年は昭和51卒高校第28回生の皆さんが幹事団を組んで取り組みますが、卒業生はどなたでも参加できますので、お誘い合わせの上ご来場ください。

お問合せ・お申込みは、5月10日までに同窓会事務局



(三井ガーデンホテル千葉)

千葉県立千葉東高等学校同窓会報「シャロンの花」21号です。

今後とも同窓生の皆様のご協力をお願いします。基金の振込にご協力をお願いします。

【ゆうちょの振替口座 00160-8-148932】

発行者 千葉県立千葉東高等学校 同窓会会長 山中 操

編集部 千葉東高校同窓会事務所 〒260-0855 千葉市中央区市場町2-15 渡辺ビル205

平成28年度 同窓会 総会の開催



<総会>

平成28年5月21日にオークラ千葉ホテルにて平成28年度の総会・懇親会が行われました。

内容につきましては、

1. 開会の辞、2. 会長挨拶、3. 名誉会長挨拶、
4. 来賓紹介・挨拶、5. 本年度転退職・新任の先生及び新年度幹事紹介、6. 出席教職員(卒業生の本校職員を含む)の紹介、7. 議長選出、
8. 議題、

- (1) 第1号議案 平成27年度事業報告、
- (2) 第2号議案 平成27年度決算報告・監査報告
- (3) 第3号議案 平成28年度事業計画(案)、
- (4) 第4号議案 平成28年度事業予算(案)、
- (5) 第5号議案 役員の変更(案)、
- (6) 第6号議案 会則の改正(案)、

9. 閉会の辞

<平成27年事業計画実施報告>

1. 総会 平成27年5月23日(土) 三井ガーデンホテル千葉 参加193名
2. 同窓会報発行・平成28年3月1日「シャロンの花」第20号発行
3. 母校教育活動の後援、学校行事参加活動
 - (1) 部活動、対外試合、発表会等参観・支援
 - (2) 海外留学引率者支援

- (3) 卒業式、入学式、体育祭、東雲祭等行事参列・参観
- (4) その他母校支援に該当する案件

<平成28年度事業計画(案)>

1. 総会 平成28年5月21日(土)オークラ千葉ホテル
2. 同窓会報発行・平成29年3月1日「シャロンの花」第21号発行
3. 同窓会・恩師対外発表会等参加支援・顕彰活動
4. 同窓会維持基金、創立100周年祈念80周年記念事業基金等募金活動
5. 母校教育活動の後援、学校行事参加活動
 - (1) 部活動(関東大会以上出場等)支援
 - (2) 対外 発表会等参観・支援
 - (3) 進路学習支援
 - (4) 海外研修引率者支援
 - (5) 卒業式、入学式、体育祭、東雲祭等行事参列・参観等
 - (6) その他母校支援に該当する案件
6. 支部発足支援活動
7. その他目的達成に必要な事業
8. 役員会(原則隔月第三土曜日開催)

昨年度の事業報告・決算報告、今年度の事業案・予算案が審議されいずれも承認されました。

(2015/04/01~2016/03/31) (平成27年会計報告) 平成27年度 同窓会本会計

平成27年度千葉東高等学校同窓会決算書

損益計算書

	科目	金額	
収入	平成28年卒業生入会金(364名)	1,273,460	
	平成27年度同窓会維持基金	713,000	
	平成27年度同窓会周年基金	429,390	
	シャロンの花第20号広告収入	60,000	
	総会・懇親会支払差額(収益分)	76,298	
収入合計		2,552,148	
支出	会議費	26,875	
	通信費	21,312	
	総会費	37,223	
	外注工賃(シャロンの花第20号)	1,174,437	
	祝金	148,010	
	学校寄付金	536,460	
	雑費	9,372	
	荷造運賃	2,716	
	支払手数料	432	
	支出合計		1,956,837
収支合計		595,311	
その他収入	受取利息	696	
	その他収入合計	696	
剰余金		596,007	

※今回の外注工賃は、支払い日時の関係上、シャロンの花第19号分とシャロンの花第20号分の経費が含まれています。

新役員一覧

役職	氏名	卒業年
会長	山中 操	昭和44年
副会長	澤田 繁信	昭和46年
	藤井 武彦	昭和39年
書記	小塚 興作	昭和34年
	市原 俊介	平成5年
会計	石橋 康郎	昭和52年
	別府 健治	昭和50年
会計監査	石橋 邦彦	昭和37年
	時田 拓央	昭和38年
事務局長	鈴木 英一	昭和46年
常任理事	戸塚 主税	昭和36年
	岩下 克世	昭和39年
	石田 定雄	昭和39年
	林 一己	昭和41年
	川島 利文	昭和42年
	古茶 義男	昭和42年
	中村 千枝子	昭和44年
	渡邊 茂通	昭和47年
	小川 輝男	昭和50年
	高橋 清英	昭和50年
	上市 善章	昭和54年
	岩瀬 義行	昭和54年
	木内 一晴	昭和62年
名誉顧問	井戸川 浩	昭和34年
顧問	永江 栄	昭和21年
	小林 美代子	昭和21年
	石橋 康郎	昭和52年
名誉会長	三上 浩司	学校長

平成28年度 懇親会

今年の同窓会懇親会は、昭和50年卒のメンバーが企画立案することとなり、前回の同窓会終了と同時に、各クラスの有志が集まり相談を重ねてきました。

懇親会当日は、50年卒幹事代表による開会宣言、山中会長・三上名誉会長(校長)の挨拶、来賓の須田先生のご挨拶をいただき、鳥田先生の高らかな乾杯から懇親会はスタートしました。

50年卒の各クラスのテーブルが18卓、その他に他の卒業年次や先生方のテーブルなど、大変多くの参加者を得て、各テーブルでは久しぶりの再会、懐かしい顔ぶれに話しも盛り上がり、また、

50年卒の担任の先生方には壇上へ上がっていただき、当時の東高の思い出などをお話しいただきました。

今回の懇親会には50年卒の130人を中心に、総勢200人のご参加をいただき、次年度の開催に向け、51年卒代表の黒川喜治さんへ、懇親会幹事のバトンと樽が引き継がれました。

閉会後には多くの参加者が2次会会場へ移動し、時間の許す限り懐かしい青春の思い出話が続いていました。

(昭和50年卒 金親 芳彦)



(懇親会開始)



(9組クラス写真)



(校歌斉唱)



(来年の幹事へ引継)

同窓会会長 山中 操



新年明けましてお目出とうございます。

今年は素晴らしい好天気の中、新春をお迎えになられたと思います。2017年は、60年に一度の丁酉（ひのと）の年、当校は文武両道を目指し、特に千葉大合格率県下No.1、

山岳部はインターハイにおいて、男子は全国優勝、女子は全国10位の快挙を成し遂げました。大変な実績と称賛するところであります。

又、クライミングでは、2年生の清水夏子さんが岩手国体に少年女子の部に出場し、千葉県の総合4位に貢献されたところです。

1月には第3回「開かれた学校づくり委員会」

の座長として出席し、特に地域・学校・部活・生活態度・社会のルール等に議論がありました。結果として、数項目の中で高い数値が統計として見られることが出来ました。大変同窓会としては、喜ばしいと感じております。

1月のセンター試験においては、雪等の自然災害もなく、無事に終了することが出来ました。偏差値も非常に高いと聞いております。

結びにあたり、本校 三上浩司校長は、長年の教育指導の結果、教育功労者の栄位を受賞されました。心より同窓会としてお喜び申し上げます。

同窓会名誉会長 三上 浩司(学校長)



同窓会会員の皆様におかれましては、御健勝でお過ごしのことと拝察いたします。また、日頃より母校の教育活動に多大な御理解と御協力をいただき、心より御

礼申し上げます。

常々言っていることですが、本校の誇りは生徒です。何事にも真剣に一生懸命取り組み、全力を尽くすその姿は、同窓生の皆様が築いてきた歴史と「東高魂」と呼ばれる精神を見事に引き継いでいると思います。ここで、今年度の活動を振り返ってみます。

①7月の東雲祭では、2日間で6200名近くの方にご来校いただきました。これだけの人に本校は支えられているということに改めて実感しました。生徒は協力して頑張り、3年生全クラスのミュージカルをはじめとして、レベルの高い出し物を披露してくれました。

②進学指導重点校として、授業を第一としつつ、高大連携を進めて多様な学習の機会を設定しています。千葉大学教育学部の「基礎教養講座」、大学生と同じ授業を受けられるHOC（ハイスクールオンキャンパス）は継続して実施しています。

東邦大、東工大との連携講座も継続し、新たに東大薬学部との連携講座も実施しました。

③理数教育に力を入れています。昨年度から科学技術振興機構認定の中高生の科学研究実践活動推進プログラムをスタートさせました。上記の高大連携に加え、理科系部活動の千葉大留学生と交流、各種の発表会やコンテストへの参加など、生徒は頑張っています。

また、12月には電子顕微鏡を借用し、現在授業や部活動で活用しているところです。

④国際理解教育を積極的に展開しています。7月のアメリカのクラークストン高校生受入れ、12月のアジアアカデミー総合学科に加えて、本校同窓生による講演や千葉大留学生による講座も実施しました。3月末には米国と豪州への海外派遣を予定しています。

⑤今年度の部活加入率は103%。生徒は、学習との両立を図りつつ日々の練習や活動に励んでいます。山岳部はインターハイで男子は見事に優勝、女子は10位と健闘しました。また、2年生の清水夏子さんが6月の千葉県総体クライミング競技で個人優勝し、12月の全国高校選抜クライミング選手権大会でも準優勝と活躍しました。文化系でも、化学部・書道部が全国総合文化祭出場、などの成果をおさめています。出場にあたっては同窓会から支援金をいただいております。改めて感謝申し上げます。

ラグビー記念碑について

千葉県高校ラグビー発祥の地記念碑、及び、関東大会・全国大会出場記念碑が完成しました。昭和26年に、敗戦からの復興と将来の日本を担う東雲健児の健全な精神の育成と身体の鍛錬を目的に、ラグビーを正課体育に取り入れ、本校に千葉県初のラグビー部が結成されました。その後、千葉工業高等学校、佐倉高等学校と相次いで、ラグビー部が結成され、昭和28年に千葉県高等学校体育連盟にラグビー専門部が作られ正式競技となった。

千葉東高ラグビー部は創立60年以上がたち、全国大会（花園）4回、関東大会28回出場を果たし、現在、小幡顧問を先頭に、総勢43名の部員、マネージャー一丸となって、先輩を追いつき、追い越せと頑張っています。

記念碑完成に、ご尽力いただいた、学校関係者、保護者会、同窓会、及びラグビー部OB諸子に心からお礼申し上げます。

（千葉東高ラグビー部OB会会長 澤田 繁信）



通信記念碑について

星霜52年（1954～2006）にわたり設置されていた本校の通信教育部。学制改革により、平成18年3月に廃止され、同年4月新たに通信制独立校として設置された県立千葉大宮高校にその教育方針は引き継がれました。千葉県の高校通信教育の草創期に多くの足跡を残した本校の通信教育部は、昭和29年から半世紀の間に、入学生2万余名、卒業生7415名を数えました。働きつつ、学びつつ、希望をもってこの地に集い、学生生活を過ごしました。

この度同窓生の願いにより、目に見える形で後世に事績を伝えたいとの趣旨から記念碑を建てる案が浮上したところです。本校同窓会並びに学校側のご配慮により、設置の方向で現在計画検討中です。具体的には記念碑設立実行委員会を設けて諸準備を進めています。

記念碑に関してのご提案、ご意見等がございましたら、同事務局あてお寄せください。

各位の協力を得ながら成案を作成し、承認を経た後、本年6月頃を目途に完成

させる予定です。

＜記念碑設立実行委員会事務局＞

（電話：0479-57-3719 携帯：090-7427-2795）

（昭和39年卒 石田 定雄）

☆写真は1月15日銚子地区同窓会・交流会（通信）満場一致で趣旨賛同、また寄付の預託を受けました。33名が参加されました。



千葉東高校 銚子地区同窓会・交流会 平成29年1月15日 於 ホテルサンモール

なぜ歌うのか ～音楽部定期演奏会～

音楽部の定演は卒業式後の3月28日。指導する顧問鈴木先生の問い掛け「なぜ歌うのか？」への答えを、部員たちは懸命に見つけていったようだ。

第1部はコンクールなどで演奏した曲や少人数アンサンブル。第2部は合唱劇「耳をすませば」、本の貸し出しカードに書かれた名前を見て恋が芽生える物語で、そこから第3部「初恋」へつながるのが面白い。最後は私が2年生だった当時の創立50周年記念歌「空の向こうがわ」を歌った。合計24名の小所帯、特に2年生や男声の殆どが途中参加で、音取りや全体の響きを作るのに相当苦勞したという。だが彼らはその困難を歌には微塵も出さず、むしろ楽しんでるようでもあった。

特に歌声は他の楽器以上に個人個人で、また時間によりばらつきが激しい。それだけに、その合わさった音はその場所、その一瞬でしか聞けないもの。その唯一のものを得るため、彼らは歌うのだ。各人の一生唯一の、多感な時期の一コマ。彼らの歌声は、それを集めた世界で唯一の歌なのだ。



幸せの旅 ～吹奏楽部定期演奏会～

吹奏楽部の定演は連休終盤の5月4日。この年は第44回、4という不吉な数字が重なるも、4が合わされば幸せとのこと。部長には、頼れる同期や自分から行動できる後輩、音楽の大切さを教えてくれる山口先生など、多くの支えがあったという。

第1部はクラシカルな雰囲気もある吹奏楽曲のステージで、いわゆるクラシックの管弦楽に由来する曲がなかったのが少し残念だが、私個人にとって大変思い出深い曲があり、思い出が走馬灯のように駆け巡る。第2部は音楽劇「オズの魔法使い」で、退屈な高校生活を送る東高生ドロシーが暴風で飛ばされ行き着いたオズの国を旅しながら、仲間と共に様々な困難に立ち向かう。第3部は「最高のひととき」というテーマで、ジャズやポップ

スのサウンドが全員一丸の振付を伴って弾ける。

全体テーマは「良い旅を」というフランス語「Bon Voyage!」、その通りここで過ごした時間は一つの大きな旅とって過言ではない。とかく吹奏楽部は楽器が多種多様で、部員も殆ど特有のニックネームが付く位に個性豊かでまとめるのは苦勞だろうが、それもいつしか旅の楽しみに昇華している。そんな幸せな旅をするのが、吹奏楽部である。



アイコンタクトで支え合い ～マンドリン楽部定期演奏会～

マンドリン部の定演は5月15日。

第1部はクラシカルな雰囲気のマンドリンオーケストラ編成で、マンドリン楽曲のほかに映画音楽があり、特有の優しく繊細なトレモロが手に取れるように聞こえた。第2部はギターパートで、指揮者なくアイコンタクトでテンポをしっかりと合わせ、時にギターで打楽器も演じながら軽快に疾走する。第3部は劇「シンデレラ」を交えてのJ-POPの演奏。第4部はクライマックスで、ソロパートの華麗なソロが繰り広げられる一方、ラグビー部の寸劇と踊りは伝承曲「ひき潮」と並んで同定演の名物としてすっかり定着した。また第1部と第2部の間に3年弦パートが演奏する「To Love You More」も定着し、至近距離でアイコンタク

トを取る姿、演奏中に感極まってしまう姿も見られる。マンドリン部はとにかく周りに支えられ、自身らも支え合う。演奏中に頻りにアイコンタクトを取り、まるで互いにメッセージを送るよう。その演奏ができるのがこれで最後だ、という意識を持って。観客もまた支える一人。それにまたなりたい。



特等席の鑑賞者

東雲祭は7月2日（土）と3日（日）に開催された。私は今回私用のため1日目しか見られなかったが、それでも3年のミュージカルを、6組「シンデレラ」、2組「キャッツ」、3組「美女と野獣」と見ることができたのは幸運だった。整理券などの混雑対策はまだまだ試行錯誤中であり、少し出遅れると選択肢が狭まる状況。その理由は、その彼らの舞台を見ればよく分かる。

演技はまたも完成度を増していた。台詞を感情込めて言い、歌も必ずしも上手ではないが懸命にその世界を表現するように歌う姿勢が見られる。踊りも一糸乱れぬものを懸命に目指している感じが見て取れる。それだけに、時折照明が暗く顔が見えにくいのが目立つが、与えられた機材でどうにか頑張った限界だと彼らは言う。東雲祭でミュージカルが始まって



幾久しく、先輩からのノウハウ蓄積もあり、まだ成熟し続けるのに頭が下がる。

何故彼らはここまでミュージカル

～東雲祭参加報告～

に夢中になるのだろうか？それは恐らく、彼らがその物語を最も強く肌で感じられる「特等席」で鑑賞できるからではないだろうか。ただ座って本を読むのでも、舞台を見ているのでもない。自らその衣装に身を包み、舞台に立って体を動かし、声を出して台詞を言い、曲を歌えばそれが全体に溶け込む。或はその道具や衣装などを作る、脚本を作る、音や照明などの演出をするなど裏方で関わっても、自らのセンスで舞台が成熟するのを間近で見る。そしてその登場人物に、部活動や恋愛友情など自らが置かれた現実を重ね合わせ、こうありたいというものをぶつけて新たな解釈を加える。

彼らはこれ以上ない特等席の鑑賞者。それを見る客席もまた、彼らほどではないが極上といえる特等席。そこにまた座ってみようではないか。

（平成5年卒
市原 俊介）



山岳部 全国大会優勝

今年の山岳部の全国大会インターハイは、岡山県北部の蒜山高原の山域で行われました。

昨年は女子が5位入賞と健闘しましたが、男子は残念ながら7位に終わり入賞を逃しました。今年の男子チームはその悔しさからのスタートでしたが、5年ぶりの全国優勝を達成することができました。

これまでの大会は、46都道府県の代表校が全体で大会のコースを歩く「隊行動」の形態が中心でしたが、今年は、各学校ごとに大会コースを単独で行動する「チーム行動」と呼ばれる形態で全ての登山行動が行われる初めての大会となりました。

スタートはクジ引きでスタート位置を決める一斉スタートで行われ、登山中は規定時間内にポイントを通り抜けなければ減点となります。またコースの中には数ヶ所の読図審査のポイントが設定されており、時間に追われる中で自分達の位置を正確に把握していかなければならず、その行動中の記録書も後で審査されました。さらに審査員がコース各所で歩行技術等を審査しているので、気の抜けない3日間となりました。

選手は、遮る樹林のない炎天下の笹原の急斜面

やクサリ場を登り、自然豊かで蛇が非常に多い山道を駆け抜け、雨に降られて泥まみれになって下山してきた日もありました。

厳しい3日間を頑張りぬぎ、男子は優勝に4人全員が男泣き、女子は入賞を逃して悔し涙にくれました。それでも男女ともに一生に一度の貴重な体験をすることができました。

最後になりましたが、同窓会の暖かいご支援を心より感謝申し上げます。ありがとうございました。来年度に向けてまた頑張ります。



（山岳部顧問
眞田 武彦）

平成27年度国際交流米国派遣報告

日米高等学校交流プログラムは1974年3月に始めて以来、昨年で37回を数えました。

3月17日（木）から28日（月）まで生徒16名（男子4名、女子12名）が参加しました。例年と違うことは、女子圧倒多数ではなく男子が若干増えたことです。

やがては男女同数になる日が来る予感がします。3日間NY見学した後ホームステイしながらクラークストン高校・中学校の授業で「夏祭り」と題した浴衣試着や盆踊り紹介、「家庭に親しまれている庶民の味」、「おせち料理、和菓子、駄菓子にフォーカスを当てた日本食」「学校を制服、時間割、行事と恋愛寸劇を通して紹介」、「高度な技術とアイデアが詰まった日本製品紹介」など日本文化のプレゼンテーションをしました。



事前指導で何度も駄目出しをしてきたせいかな本番では狙いどおり笑いも取れ、素晴らしい発表の連続でした。

学校では発表ば

かりでしたので、最後の日はお願いしてホストと一緒に授業に参加させていただきました。本当に楽しかったようです。

生徒は放課後になるとホストの企画により、典型的なアメリカの遊びや交流会を経験させていただきました。歓迎パーティに始まり、翌日からはレーザータグ、ローラースケート、ショッピング、ボーリング、さよならパーティなどが日替わりで用意されていました。一緒に生活することで築いた人間関係、学んだ英語やものの考え方、文化、習慣などは生涯の宝物となったことと思います。

最後になりましたが、歴史と伝統のあるプログラムを引率させていただきました光栄に思います。

また、事前指導から帰国まで担任になったような気分させていただき感謝しております。

（引率教諭 石井俊幸）



平成27年度国際交流豪州派遣報告

平成27年度の国際交流豪州派遣には、24名（2年生3名、1年生21名）の生徒が参加しました。Host SchoolのPacific Hills Christian Schoolへは平成25年度に続き2度目の訪問となりました。シドニー郊外のDuralという半農業地域で、周辺は自然保護区や国立公園に囲まれた閑静で穏やかな雰囲気のある学校です。



研修は、一人一家庭でのホームステイ、オーストラリアの文化や歴史、地理などを学ぶESLレッスン、現地校生徒と共に授業への参加、本校生徒による日本文化紹介、世界遺産（オペラハウスやブルーマンテンズ）等見学です。派遣される生徒は、事前研修として放課後20回以上（1回につき2時間から3時間）にわたって、英会話レッスンとプレゼンテーション資料作成や発表の準備に追われます。部活動や委員会活動などと並行して派遣準備を進めるため、睡眠時間がかなり減少した生徒もいました。しかし、2年生のリーダーシップによって、準備は順調に進み、出発前には生徒の表情は

自信と希望に溢れていました。現地校へ到着し、ホームステイやレッスンが予定通りに行われ、準備したプレゼンテーションを披露したのはレッスン最終日となりました。テーマは日本の伝統文化「浴衣と遊び」、「書道」「折り紙」、「ダンスソーラン節」などを英語で説明し、Host Schoolの生徒を交えて実演しました。200人以上のHost生徒からの割れんばかりの歓声と拍手で、会場は異様な盛り上がりを見せました。この10日間の研修が、派遣された生徒の心の中で大きく育ち続けてくれるものと確信しております。このような活動ができるのも、保護者の方々や同窓会のご理解とご支援があればこそだと思います。今後共、ご理解とご協力をお願いできれば幸いです。

（引率教諭
及川 邦裕）



今年の進路指導について～より充実した進路指導を目指して～

「光陰矢のごとし」とはよく言ったもので、私が東高に転勤してきて4年目、進路指導主事として2年目が終わろうとしています。（本当は担任をやりたいのですが…）

今年の進路指導はバージョンアップ？したことをご存知でしょうか。3年後を見据えたものとなるように少しだけ変更してみました。ひとつは難関国立大に進学した東高卒業生が在校生に対して叱咤激励する企画、京大・東工大・一橋大といった国公立大の教授による模擬授業を生徒が体験する企画、そして3年間の進路指導をまとめた「進路シラバス」を年度当初に生徒・保護者に配付しました。その中の進路目標および各学年における進路目標は下表のようになっています。

「進路シラバス」からの抜粋

○3年間の進路目標

生徒ひとりひとりが将来の高い進路目標の実現に向けて、基礎・基本や授業、学習習慣（特に家庭学習）、および基本的な生活習慣の重要性を認識し、「東高魂」を実践する。

○1年時における進路目標

自己の適性や能力を理解し、その可能性を模索するとともに、将来を見据えた進路設計を目指す。（自己理解、職業観の育成、学門研究、科目（文理）選択）

○2年時における進路目標

自己の進路目標を具体的に決め、それに関する情報を収集し、確固たる目標を維持しながら、基礎学力の充実に励む。（学部・学科研究、大学研究、第一志望校の選定、文理選択）

○3年時における進路目標

集団としての進路意識（「受験は団体戦！」）を高め、ひとりひとりが納得のいくような進路目標実現に向けて果敢にチャレンジする。（入試研究、第一志望校の確定・実現）

また、各学年の主な進路行事は次のようになっています。

（今年度実績）

●1年：4月（スプリングセミナー、進路集会）、5月（キャリア講演会、進路適性検査）、6月（進路集会）、7月（校外実力テスト）、9月（進路集会、先輩の体験談を聞こう！、大学ガイダンス）、10月（基礎学力確認テスト、保護者対象進路ガイダンス、校外実力テスト）、11月（大学模擬授業）、12月（進路集会、1月（校外実力テスト）、2月（OB・OGによる進路講演会）、3月（基礎学力確認テスト）

●2年：4月（進路集会）、6月（保護者対象進路ガイダンス）、7月（校外実力テスト）、9月（先輩の体験談を聞こう！、大学ガイダンス）、10月（校外実力テスト）、1月

(3) 大学別現役合格状況（抜粋）

卒業年度	平成23	平成24	平成25	平成26	平成27	既卒
北海道大	4	5	1	3	2	2
東北大	1	3	3	9	6	6
筑波大	8	5	5	6	7	
千葉大	35	45	32	46	45	17
東京大					1	
東京外大		1	1	3	4	
お茶の水女子大	1	2		1	2	1
東京工業大	2	1	3	2	4	
一橋大			2	3	1	
名古屋大			1	1	1	1
京都大	1	1	2	1	1	1
大阪大	1		2	1	1	4
神戸大	1		2			2
九州大				1		2
国公立大合計	81	97	87	110	117	58
早稲田大	25	34	28	35	48	17
慶応大	4	20	13	11	15	13
上智大	10	26	24	13	22	9
東京理大	30	39	36	52	52	45
国際基督教大	2	3		1	1	1
明治大	61	71	52	68	67	39
青山学院大	12	21	16	33	30	3
立教大	47	44	26	50	40	15
中央大	23	25	26	21	31	17
法政大	52	55	38	62	58	27
私立大合計	496	664	567	691	748	328

(4) その他

医学部医学科合格は現役0、浪人生9（国公立大は旭川医科大1、山形大1、群馬大1の計3、準大学は防衛医科大1、私立大は産業医科大1、日本医科大1、東京女子医大1、帝京大2の計5）であった。

（「進路志望書」提出、センターチャレンジ、校外実力テスト）、2月（進路講演会&大学ガイダンス）、3月（基礎学力確認テスト）

●3年：4月（進路集会）、5月（校外実力テスト、保護者対象進路ガイダンス①）、6月（校外実力テスト）、7月（進路集会）、9月（進路集会、校外実力テスト）、10月（校外実力テスト、進路集会）、11月（校外実力テスト、保護者対象進路ガイダンス②）、1月（センター試験実践講習会、進路集会、センター直前指導、出願校調査、国公立大二次・私大個別指導）、3月（合否調査）

なお、進路行事实施後のアンケート結果は概ね良好であり、今後は更に充実したものとなるようにしたいと思います。

（進路指導主事 倉内 博幸）

山岳部OB会

千葉東高山岳部の卒業生が600人を超える人数になりました。

近年、若い世代が国体・インターハイの常連になり優秀な成績を残しております。

山岳部卒業生を主体としたシャロンアルペンクラブの活動を千葉東高山岳部OB・OG会とした統一された活動を求める声が大になってきております。顧問の先生方・東高関係者等のご協力をいただき本年度4月に設立総会開催を目指しております。今年もシャロンアルペンクラブの忘年山行が三浦アルプス(三浦半島)で12月に実施されました。初冬の風のない暖かい日差しの中を10名が三浦富士から砲台山、武山の標高200m程のミニ縦走を楽しみました。

これを機会に統一されたOB・OG会に若い世代の

参加を希望しております。

(昭和44年卒 小川 秀樹)



平成28年度野球部OB会通信

〈OB会総会〉

6月11日(土)18:00 京成ホテル・ミラマールにて開催。

総会には藤代会長のほか代議員16名が出席して開催されました。昨年度の事業報告・決算報告、今年度の事業案・予算案が審議されいずれも承認されました。

総会に引き続いて開催された懇親会には飯生監督のほか、野球部部長に就任された畠山先生、保護者会から西村会長、村山副会長、古川さん(次期保護者会会長)にもご臨席いただき、藤代会長(S45卒)の挨拶から始まり、飯能監督、保護者会・西村会長から挨拶をいただき、その後、和やかに歓談して終了しました。

〈第38回千葉県高校野球OB野球大会〉

今年度のOB野球大会・1回戦は7月31日(日)に成田高校のグラウンドで佐原高校と対戦しました。

初回到4点を先制されましたが、安西君(H4卒)・武井君(S63卒)・佐藤君(H10卒)の投手陣が粘り強く投げ、荒井君・宮本君・日暮君のH25卒トリオと佐藤君(H10卒)大塚君(S57卒)の活躍で19-11で久しぶりに初戦を突破しました。

2回戦は10月23日(日)、県野球場で成田高校と対戦しました。(参加者は19名)先攻となった本校は初参加の水野君(H23

卒)・古山君(H24卒)・橋口君(H26卒)の3人と日暮君(H25卒)らの連打で初回到4得点で好調の滑り出しでしたが、すぐその裏に強豪・成田打線の猛攻にあい、6点を奪われ逆転を許すと成田が繰り出す投手陣をなかなか攻略できず、残念ながら7-19で敗戦となりました。

それでも今年は若い世代のOBが集まってくれたお陰で、それぞれのOBが楽しい2日間を過ごせました。参加して下さった皆さんに感謝しつつ、さらにはたくさんの方が参加して下さることを期待します。

(文責:昭和51年卒・高橋 敏行)



曾川定雄先生瑞宝小綬章受章記念祝賀会

平成28年2月20日(土)京成ミラマーレホテルにて、元千葉東高校校長曾川定雄先生瑞宝小綬章受章記念祝賀会が催された。曾川先生は長い行政経験を経て、平成11年から平成14年まで千葉東高校校長として勤められ、平成11年千葉県教育功労者表彰、平成12年教育者文部科学大臣表彰を受賞された。祝賀会は当時の千葉東高校職員と前任の幕張総合高校など曾川先生に関係深い方々が出席され、先生の御功績とエピソードを拝聴した。



東高ラグビー部OB会

平成28年7月30日(土)ラグビー部夏合宿期間中、各年代OB交流与現役激励を兼ねてOB会が開催された。グラウンド脇に建立された「ラグビー発祥の地」記念碑の見学に創部当時のOBも来校され、OB戦後の懇親会には各世代OBが多数参加した。全国大会出場から遠ざかりOB会活動も停滞していたが、元コーチ横山教頭赴任に伴いOB会ホームページ開設や支援活動の充実が図られ、現役部員は本年3月に同窓会・OB会の支援を受け豪州遠征をおこなう。



昭和35年(1960年)卒 顧問 故:宇野哲朗先生 A組同窓会

いよいよ後期高齢者に入る私たちOBですが、あっという間にここまで来てしまいました。

振り返れば男女比率が良いのと進学にヤッキーでない高校のつもりで入ったら男子ばかりの進学クラス。よく遊んだ割には国立大、私大と皆それぞれ進んで行きました。今では考えられないボロ校舎にどれをみても田舎の土臭い仲間の集まりでした。

千葉に戻って気づいたことは、友達が割に多く地元で活動していた点で、大変ラッキーだった気がします。

次代を背負うこうした生徒たちが新しい流れを

掴み更に母校の歴史に厚みを加えてくれれば嬉しい次第です。(昭和35年卒 戸塚 主税)



アパート・マンションお部屋探しは
パマンショップ
PAMAN SHOP

お部屋探しはおまかせ下さい!!

アパート・マンションのお部屋探しから賃貸管理、土地活用まで
不動産に関することを **トータルサポート!!**

聞くだけ査定 **千葉不動産情報ナビ**

千葉県東葛飾区(03)232-0006 千葉県市川市(04)232-0006
千葉県市川市(04)232-0006 千葉県市川市(04)232-0006
千葉県市川市(04)232-0006 千葉県市川市(04)232-0006

今すぐ検索

ギャレックスチバ株式会社

代表取締役 澤田篤信(昭46年卒)
千葉県中央区今井3-1-9
[TEL] 043-261-4528
[FAX] 043-265-5446
[mail] info@galaxchiba.jp

オリジナルマーキングは弊社!!

田沼 行政相談所

・行政相談(市政・国政)
・力仕事
・その他、お困り事

所長 田沼 隆志
(平成6年卒)

〒263-0043 千葉市稲毛区小仲台2-6-1
京成稲毛ビル2階
TEL 043-253-9610 FAX 043-253-7255

2016漕書展開催される

漕展が10月18日からこみなと稲毛ギャラリーにて開催された。7名の出品者で、漢字・かな・漢字かな交り・蒙刻による大作・小品・多彩な展示内容であった。

また、今展では特別企画として大子硯工房の佐藤氏による硯に関する講演や顕微鏡で、硯の鉢鉢を見るという企画を立てたところ、見学者は興味津々、書と硯の両方の鑑賞を楽しんでいる様子で、盛況のうちに終了した。今年も同会場で開きます。ご来場を一同お待ちしております。



写真 白井 石井 須田
林 湯浅 林 中村

(昭41年卒 林 一己)

東雲会ゴルフコンペ

こんにちは！

私、昨年7月18日、山武グリーンCCでの東雲会ゴルフコンペ優勝させていただいた本多正孝です。当日は、天気、メンバー、運に、恵まれての優勝でした。久しぶりの同期生、先輩と再会でき、とても楽しい1日でした。ことしも、参加したいと思います。同伴していただいた、今井一臣、木村秀二、中山三栄子先輩又ご一緒させてください。

最後に、幹事の皆さん、どうもありがとうございました。
(昭和48年卒 本多 正孝)



ホームページご案内



(千葉東高校同窓会HP)



(千葉東高校HP)



(ラグビー部OB会HP)

<同窓会からのお知らせ>

- ・基金の支払の方法について【ゆうちょの振替口座 00160-8-148932】

コンビニで支払いができる振込用紙をセットしました。金額は固定(4,000円)になりますが、郵便局でもコンビニでも同窓会への寄付金の支払いができます。同窓会の維持の為に皆様のご協力をよろしくお願いします。固定金額以外は、郵貯の振込用紙に記入して振込をお願いします。

(同窓会活動維持基金 1口 2,000円 創立100周年祈念80周年記念事業基金 1口 2,000円)

<編集後記>

時の経つのは早い、あっという間にシャロンの花の編集時期になりました。各OB会や学校に原稿を依頼して作成しました。ご協力をいただいた皆様ありがとうございます。同窓生の皆さんも何か行事や集まりなどあればぜひご一報ください。ホームページの問合せからでも連絡をしてください。同窓会のホームページや「シャロンの花」に掲載したいと思います。

ところで、昭和51年卒から教育の制度が変わり、1年2年が同じクラスで3年でクラス替えになったそうです。昭和50年までは1年でクラス替えでした。今年の5月の総会・懇親会の幹事学年の人が1・2年のクラス会はやっているが3年の横のつながりは薄いという話でした。
(編集委員)